

平成30年10月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成30年11月1日(木) 15時00分～17時00分
2. 開催場所 日野町役場 201会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、山田めぐみ教育長職務代理者
高橋政宏委員、谷 信代委員、西村吉弘委員
4. 出席事務局員
教育次長 : 望主 昭久
学校教育課 : 参事 山添 美実 参事 吉澤 増穂
生涯学習課 : 参事 加納 治夫
図書館 : 館長 高浪 郁子
子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

今宿 教育長	<p>ただ今から日野町教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の議事日程に基づき進行します。</p> <p>先ず日程2の、新教育委員就任についてでございます。9月定例町議会で同意を得て、先ほど町長から教育委員の任命を受けられ、西村吉弘様に引き続き教育委員にご就任いただきました。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
西村 委員	(ごあいさつ)
今宿 教育長	<p>日程5の経過報告に移ります。まず、私から主な経過を報告させていただきます。</p> <p>まず前回の教育委員会後の取組ですが、9月28日、芸術鑑賞としまして、中学校の全生徒を対象に「能」の鑑賞をしました。午後からは5小学校の4年生以上の児童を対象にし、バイオリンとピアノのリサイタルの鑑賞をしました。中学校につきましては50周年の記念の年であり、その記念事業ということも兼ねさせてもらっております。能とかバイオリンなどを目の前で鑑賞するということは、経験として少ない子どもたちでございますが、本物の体験、貴重な体験をしたと思っております。あとで能の演じ手の分林さん、シテの主役の方でございますが、話をさせてもらっていると、逆にこのような貴重な機会をいただいて嬉しいと言っていました。一度でも観るといふこと、観ていただくことに意義があると。これがまた広がって、この舞台の雰囲気味わった子どもたちが、伝統文化への理解や関心等の行動に移ってくるのではないかと話をいただきました。</p>

10月になりまして4日、レスリングの園田選手と北岡選手が、学生の世界選手権において園田選手は79キロ級で第2位、北岡選手は63キロ級優勝という素晴らしい成績を収められましたので、報告に来ていただきました。両選手とも日々技を磨き、2020年は東京オリンピック・パラリンピックというその大きな夢に向かって日々研鑽しているという話を聞かせていただきました。私たちもその活躍を、これから注目していきながら応援していきたいという思いを持ちました。

10月7日、町民運動会です。この日は雨や風が心配されましたので、日野・鎌掛・東桜谷の3地区については中止を決められ、西桜谷・必佐・南比都佐・西大路地区におきましては、実施をされました。この4地区について観覧させていただいたのですけれども、それぞれ特色を活かして、実施という判断をされ、活発な演技・競技等が展開されていました。地域のつながりの強さを感じさせていただきました。

それから9月9日・10日につきましては、教育委員さんの視察研修でございまして、岡山県和気町に視察に行かせていただきました。ここでは英語教育・ICT教育の先進地区の視察をし、特にプログラミング学習については今後の取り組みについていろいろと心配をしていたわけですけれども、視察によってイメージが持てたと思っております。特に給食の配膳のイメージから、考え方を養うというところから、我々も体験をさせていただきましたし、教科書もそのように対応されるという感覚・実感を持ちましたので、早速できるところから学校と相談して始めていきたいと思っております。

それから12日の戦没者慰霊祭では、8月の延期されたものがこの日に行われたのですが、大変多くの方の参加をいただきました。

14日のスポーツ天国でございますが、去年は雨のために競技を縮小されましたが、今年度は大変晴天に恵まれましたので、すべて計画どおりに実施できました。これも町の大きな事業と受け止めておりますし、大変多くの団体が参加してくれまして、大勢の町民の皆さんで賑わいました。

それから16日は合同体育祭がありました。このことにつきましてもご出席いただき、ありがとうございました。日野小学校で全小学校の6年生が一堂に会したわけですが、全員が顔を合わせるということは、非常に貴重な機会であり、中学校の第一歩・第一日目であるという位置づけをしております。本町におきましては、この合同体育祭と合同音楽会、そして先ほど申しました芸術鑑賞、また一日入学が全小学校の子どもたちが顔を合わせる機会です。こうしたことを経ながら1町1中学、日野

	<p>中学校へとつなげていきたいと思っております。</p> <p>また27日・28日でございますが、氏郷祭がございました。1日目は強風のために寒い日になりましたが、2日目は晴天に恵まれ、本当に大勢の方々に参加をしていただいております。特に町の特産品や各種団体のコーナーも盛りだくさんございました。</p> <p>この27日の午前中でございますが、町内の教職員の球技（ビーチバレー）大会を行っております。毎年この時期に、教職員が顔を合わせ、スポーツの交流を通して親睦を図るという機会でございます。これも怪我もなく楽しい一日として過ごさせていただきました。</p> <p>一昨日30日でございますが、午前中に滋賀県の教育委員会、そして知事、議会等に、重点課題としております予算につきまして、要望に回らせていただきました。中でも本町の参事の職の補助金の確保と、広域人事を進めていただくということ、また特別支援通級教室の拡大がこれからの大きな要望でございますので、そういったことへの要望と、通学路の安全対策についての補助の充実といったことをお願いにあがってきました。</p> <p>午後からは、滋賀県の教育委員会教育長と県内の19市町教育長が一堂に会しまして懇談会を持ちました。これは昨年を引き続き2年目になるわけでございますが、今年度は「学ぶ力の確かな定着」と「働き方改革」、この2テーマについてそれぞれ情報交流をいたしました。またそのあとは引き続き、県の教育委員会の各課の管理職の方も参加して懇親会があり、これも日頃なかなか顔を合わせて本音のところで話をする機会がありませんので、情報やいろいろな思いを伝え合う、よい機会になったと思っておりますのでございます。以上でございます。</p> <p>続きまして、各課からの報告を学校教育課から順次させていただきます。</p>
各課長	(各課から報告)
今宿 教育長	ただいまの経過報告につきまして、ご質問などございましたらご発言いただきたいと思います。
高橋 委員	<p>2点だけ教えてください。</p> <p>公民館の事業、公民館そのものが減ってきている、大会が開けないとか脱退するとか、大津の話もされましたよね。全体的に日野町は伝統があつていいと思っておりますけど、公民館の存在意義というのはどういう傾</p>

<p>加納 参事</p>	<p>向にあるのですか。</p> <p>例えば、今思い出したのですが、私、甲南にいるときに現実的に、公民館はあるようでない。現実的には甲南町は、市町村合併前、日野より少し面積が小さいですから、プララというところで、すべての公民館活動をやられておりましたが、形のうえでは公民館があったように感じているのですけれども、そういうようなお考えの自治体が増えてきているのか。あるいはもっと違うことが原因で公民館活動が、言い方は悪いかもしれませんが、衰退してきた結果、そういうふうになっているのですか。</p> <p>活動そのものは、ある意味、衰退しているようになってないようなところもあります。今、例えば東近江市でしたら、まちづくり協議会とかそういう団体に変わりつつあって、各地区のまちづくり協議会がいろいろ地域のことを運営されています。建物は「公民館」の名前だけれども、中身は協議会が持っておられて運営されています。社会教育だけでなく自由な形での使い方をされているというところで、活動そのものはある意味、社会教育に関わらないような事業で一生懸命やっておられるというところもあります。</p> <p>けれども、公民館というのは昔ながらの、日野町はわりと地域振興を含めた形での活動をしていると私は認識しているのですけれども、よそは貸し館事業、なおかつ〇〇〇教室とかいろいろあるのですけれども、そういうものを開催しているだけ、みたいなイメージのところがあって、地域振興・地域づくりというところまでは行ってない部分もあって、それだったら指定管理にしてしまって、貸し館だけにしてしまったらどうかというような動きのところがあります。</p> <p>大津市さんは特に、今まで公民館に生涯学習主事みたいな人を置いて公民館活動をやっていくということをしてこられたのですけれども、越市長になって考え方が変わって、そういう人たちはもう置かない、各館に協議会を持ってもらって、その協議会に指定管理して、貸し館制度にしていくようにする、そういうふうに変わりつつあるというところなんです。</p> <p>その流れがなかなか滋賀県は止まらない状況です。特に何が弊害だったかというのは、もう1つあるのは、市町村合併かなとも思います。市町村合併をしていく中で、そういうコミセン化になっていったりとか、協議会に変わってそこが運営するという形になってきたところがあります。あえて、東近江のことばかりですけれども、東近江市はまだ公民</p>
--------------	--

	<p>館を一生懸命やっておられるのですけれども、東近江みたいな大きな市町村になると、そこだけの枠の中でいろいろなことを協議したり研修したりとか維持していくのはすごく大変で、例えばそれが滋賀県とか近畿とか、ブロックをつかって、ネットワークをつかって研修会をやらなくても、自分たちのところだけでするのだけで今精一杯みたいなのところも見え隠れしていて、あえて協議会をつかって、そこに負担金を払ってやっついていかないといけないという意識がちょっと、段々、今のお金の情勢もあって、なくなってきたという現実があります。</p>
高橋 委員	<p>関連して、公民館がそういう動きがあることはちょっと残念だなと思っていますし、日野町の場合は地域振興、まちづくりにそれぞれの地域の公民館の果たす役割が、従来からの考え方ではありますけれど、プラスアルファ、波及効果を生んでいるなと思っています。</p> <p>そして、今おっしゃってなかったですけども、私は違う面で、例えばお金の面で、人件費なども例えば大津市あたりなどでは相当絡んでくるので、そういう面からおっしゃっているのかなとは思いますがけれども、ぜひ日野町では従来からの公民館のよさを、周りが変化しつつあるだろうと思いますがけれども、進めていただければ嬉しいなと思います。</p>
加納 参事	<p>ありがとうございます。ぜひ応援いただきますようお願いいたします。</p>
高橋 委員	<p>もう1点、子ども支援課、先ほど保育園に来年度、たくさんのゼロ歳児の希望者があると言われましたね。政府の方でもゼロ歳児を無償と言いましょか、完全にはそういうふうにはいきってはおられないと思いますけれども、昔の発想で言いますと、保育園とは保育に欠ける、家で保育する人がない、そして民生委員さんの許可を得ると、今はそういうことではないです。</p> <p>しかしながら、先ほどお金の話をしましたけれど、ゼロ歳児さんの受け入れというのは非常に神経も使いますし、今現実には1対1なのか、3対1なのか、わからないところがありますけれども、その辺でまた人の確保とかで苦勞を願わねばならない面が、年度末あたりで確定してくると、人がなかなかないのが現状ではなかろうかと思うのですけれども、今現状ではそのあたりどうお考えか、聞かせていただけるとありがたいと思います。</p>

<p>宇田 課長</p>	<p>ありがとうございます。なかなか今、60人のゼロ歳児というと、3人に1人つくということでございますので、それだけでもたくさんの保育士が必要になってくるので、現実的には厳しいなと思っております。</p> <p>実際、今、政府が言われている無償化は、3歳～5歳児をまず来年無償化しましょうと。0歳・1歳・2歳については住民税の非課税世帯を無償化しましょうということですが、最近の流れとして、出生届を見ると、アパートに暮らされている夫婦の出産がすごく多い状況がございます。そんな中で、今子育てについて、昔ですとおじいちゃんやおばあちゃんに習いながらですけれども、今は誰も頼ることなく、友だち付き合いができる人はいいのですけれども、それ以外の人はインターネットを見ながら子育てをされているのが多いような状況があるのかなと。そんな中でよく聞くのが、オムツを取るのはどうしたらいいか、離乳食はどうしたらいいか、そういうところで、とにかく保育園にさえ入れれば何とかかなかなというようなどころも無きにしも非ずかなという感じでは受けています。</p> <p>実際このあと申し込みされたご家族1件1件に電話しながら、ゼロ歳児についてはそのご家族の状況も見ながら、一概にこちらもお断りするだけではなくて、家族によっては預からなければならぬ家も当然あるかと思いますが、そこは慎重に見極めながらやっていきたいと思っております。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>大きく言って2項目お尋ねしたいと思います。</p> <p>最初の1項目目ですけれども、生涯学習課さんの管轄ではないかと思いますが、今年夏から秋にかけて、風の強い台風が来ましたね。特に9月4日の21号は結構被害を受けておられる方々も多いと思います。特に日野町においては文化財といわれるものに対する被害はどの程度あったのかということをお尋ねします。</p>
<p>加納 参事</p>	<p>ありがとうございます。文化財に関してはヒダリマキガヤが、指定された熊野の石碑のあるところ、道ごと大きく風を受けてひっくり返った状態です。その木が再生できるかどうか調べてくださったのですけれども、無理だということで、無理だったら倒れた木をどうしたらいいかということで、それが天然記念物だったということで、何かつくれないか</p>

	<p>ということで、今模索はされているのですけれども、まだ詳しく結論は出てない状況です。</p> <p>文化財は今のところ大丈夫、ふるさと館そのものも漆喰が多いので、横殴りの雨を受けると漆喰がかなり落ちまして、その修復作業を補正予算を出したりとか、いろいろご苦労いただいているところでございます。</p> <p>あと熊野の神社、たまたまヒダリマキガヤを見に行った時に、スギの大きい大きい大木が中ほどから折れていて、神社の方には折れなくて、堤さんの小屋の方に折れて、小屋が使い物にならなくなったと。神社の方に倒れていたら大変だったなという思いでいます。</p>
西村 委員	<p>ありがとうございます。今回、天然記念物の被害の状況は聞かせてもらっておりましたし、そのほかにも建造物に関しましては屋根瓦とか漆喰とか、被害を受けたのではないかなと思っております。</p> <p>私がこれについて直接ということではないのですけれども、文化財全般に関しましてですけれども、特に町民の中で文化財に対する関心が高まってきておまして、非常に熱心な方もおられるということもございまして、文化財行政全般について何かお手伝いがしたいなという雰囲気があるわけですね。できましたらそういう町民のパワーを活かしていただいて、文化財行政の支援というかお手伝いということで、そういう方々の応援を受けられるような組織化をしていくと言いますか、そういった方向性を1つ出していただくと、そういった熱心な町民の方々も町に対する期待、また自分たちの働きということで、希望が持てる方向が出てくるのではないかと思いますし、この点についてご検討いただければありがたいと思います。</p>
加納 参事	<p>ありがとうございます。今度11月22日に「日野町の文化財を守る会」という組織をつくられると聞いていますが。</p>
西村 委員	<p>それはたぶん正明寺さんの呼びかけで結成された会ではないですか。日野町における文化財の保護に関して、今後の行政支援の在り方についての思いも込めて、具体的なご要求を掲げられて、その推進のために「会」をおつくりになられるということですね。直接ではなくて、耳にしているというだけで、今の私の発言は正確ではないかもわかりません。</p>

<p>加納 参事</p>	<p>正しいと思います。打ち合わせをしていた時に、11月22日に「日野町の文化財を守る会」が来られると。正明寺さんを中心としたということですが、せっかく冠が「日野町の文化財」ということですので、日野町全体をとという会であればという話が出ておまして、今度、課長とオカイが対応させてもらってお話を聞かせてもらうということになっておりますので、動きとしては西村委員が言われたようなことだと思っております。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>この件に関しましては、私自身は関与しておりませんが、町の情報として、おぼろげながら聞き及んでいたということでございます。いろいろありがとうございました。</p> <p>2つ目のことについて発言させていただきたいのですが、10月26日でしたか、文科省あるいは県の教育委員会が一斉に新聞報道で、いじめなどの件についての数字的なことも含めて発表がございました。これは文部科学省が問題行動、不登校調査をされて、その結果が全体の数値として発表されたのだと思っております。</p> <p>私は、その中身が日野町でどうであったかということストレートに質問するというよりは、この種の情報は一定の時期に学校現場から事務局へ報告いただいているのだと思いますし、それぞれの項目別の時系列の推移とかいう状況はきちんと事務局でお持ちだと思いますので、この件に関しましては、ある時期、適当な時期がいつかはわかりませんが、一定の時期に、現状はこうだと、過去はこうだと時系列で示していただいて、全体の状況をお教えていただきたいと思っております。</p> <p>この件に対する行政としての施策は打っていただいていると思うのですが、この定例会で形式的に数字だけお聞きするというよりも、一定のテーマに基づくご報告をいただいて、そのうえで私ども委員も事務局さんが認識しておられる状況について、共通認識に立ったうえで、課題解決に向けての勉強ができればいいなと思っております。</p> <p>これはこの前の学力調査の時のこちらへご報告いただく中身に関しましても、委員から意見を申し上げていたと思うのですが、いろいろその時その時に起こることを断片的に数字をお聞きするのもいいのですが、やはり、検討すべき事柄についての状況を委員が正確に認識することが前提となりますね。そのためには、適切な情報を頂戴しないといけないこととなります。今はたまたまいじめ問題を例に出して申し上げましたけれども、そうすることできちんとした中身を私どもに教えていただいたうえで事務局と共通認識を持ちたいと思っておりますので、この点、よ</p>

<p>今宿 教育長</p>	<p>ろしくお願いします。</p> <p>定例会ですと、いつもこのような形で進めさせていただいておまして、今おっしゃっていただいたような生徒指導上、教育課題上の課題、特にいじめ・不登校の現状とこれからの対応といったことについてご理解をいただくという、まとまった時間がなかなか取れてなかったかなというのも、ご意見をいただいてそのとおりでなと思います。そういったことがこの定例会で取れるか、また臨時で教育課題についてご理解とご協議をいただく機会にするか、考えていきたいと思っております。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>今、西村委員さんから言われました、共通認識を持つというのは非常に大事だと思いますので、議案が多い時と少ない時がございますので、様子を見ながら、現場研修と言うか、前は施設見学とかもありましたので、そういう意味も含めてまた1つのテーマで時間を取れるようなこともさせていただきたいと思っておりますので、議案の数などを見ながら、またこちらで計画をさせていただきたいと思っております。</p> <p>教育委員会とはまた別の方がいいかも知れません。一旦終わったあとでもう1回させていただくとか、その日のうちにするとか、少しまた工夫をさせていただいた中で、事務局として設定をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>ただいまご意見をいただきましたのは、学力の定着についての取り組みというテーマもありました、今おっしゃっていただいた以外でも、ほかにもこんなことが気になるというようなご意見等ございましたら、お願いします。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>先ほど西村委員さんから文化財のお話があって、天然記念物の話が出ました。私も認識不足で、ヒダリマキガヤがそんな状態になっていると初めて聞きまして、びっくりしているのですが、いつかのこの会議の時にも申し上げましたけれども、市町村合併をする前の段階で、全国津々浦々の自然系の天然記念物が、一番かどうかは忘れましたが、多いのは日野町です。シャクナゲ、屏風岩、ヒダリマキガヤ、高師小僧等々ありますけれど、自然系でいうとそれが認知されるのはやはり論文がないとダメなんですね。</p> <p>ヒダリマキガヤはあります。私も仕事柄、あれは特異と言うか、専門的なことまでわかりませんが、教材としてしたので、ぜひとも、</p>

	<p>なんか先ほどは聞き間違えたかも知れませんが、枯れてしまうようなことをおっしゃったかと思えますけれど、何とかしてほしいなのと同時に、シャクナゲもそうですけど、いろいろ日野町ならではの自然系の天然記念物を町民の方、あるいは滋賀県に情報発信するなり、全国にも発信する値打ちは十分にあるかと思うわけです。</p> <p>また、高師小僧などは西の公民館、あるいは南比都佐の公民館などにもありますが、石碑が建っている場所には何もありませんけれども、何らかの予算取りをいただいて、その道の専門家がいないと難しいだろうと思えますけれども、ぜひとも日野町の自然系の天然記念物も相当するものも非常にありますし、世に出せるような情報を、あるいは保存するような手立てをお願いできたらありがたいなと、たった今思いました。申し訳ございません。</p> <p>ありがとうございます。確かに十数か所の県の天然記念物の中で、日野町には5つ存在していると。これは橋本忠太郎さんの功績もあり、町内くまなく調査活動をしてくださった中で認められたということもあります。『ふるさと日野の歴史』にそれは必ず記述しておこうということと、それから小学生の副読本『わたしたちの日野』の表紙に、5か所の場所を明記することもしているのですけれども、そういう学習をしっかりしていこうと思っています。</p> <p>ヒダリマキガヤにつきましては、2本のうちの1本が被害に遭ってしまったのですが、かろうじて1本が残っています。その奥に群生しているところも確認されているようでありますので、守るということも努力していかなければならないかなと思っています。</p> <p>西村委員さんがおっしゃっていただいた文化財への関心が高まっていることは大変ありがたいことですし、そのいろいろな学びに役立つ活動をしようというお声をいただいているということはありがたいと思いますので、これからの子どもたちや町民の皆さんにどんなことができるかということも考えていければいいなと思っています。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>それでは、日程7の議事に入ります。次に「議第1号 財産の取得について（日野町立小・中学校教育用プロジェクター機器）」を議題とします。事務局から提案説明を願います。</p>
今宿 教育長	
吉澤 参事	(提案説明)

今宿 教育長	以上、説明させていただきました。ご質問等ございませんか。
高橋 委員	2点教えてください。1点目は、たぶんこれも以前お聞きしたかと思えますけれど、これまでから学校の校長からの要望等でプロジェクターを入れてほしいというのは、1千万円単位のお金ですので、やはり財政的に当初予算では、言い方が悪いかも知れませんが、はねられてしまったわけですか。
吉澤 参事	今おっしゃっていただきましたように、30年度の当初予算の教育委員会からの要望につきましては、プロジェクターの導入について要望はさせていただいて居ったところでございますが、昨今の財政事情の中で当初予算ではなかなか認めていただけなかった部分でございます、今回、9月議会において町内企業の業績によりまして増収が見込めるといふ中で、町の教育にお金を使おうというふうな姿勢の中で、本予算についてもお認めいただいたというところでございます。
高橋 委員	ありがとうございます。関連しまして、今、教育現場では数年前と今と格段に違ってきていますね。やはりプロジェクター、あるいは私も使っていますこういうもの【スマホ】、これより一回り大きいB5サイズのものもそうでございますが、地域によりましては導入されていますが、今ここでおっしゃっている電子黒板というのは、いろいろなタイプがあると思えますけれど、スクリーンであって、こちらから映すだけではなくて、いろいろな機能が付いているものですか。うまく表現できないのかもしれませんが、私も使ってきたところがあるのですが、そういうものでしょうか。
吉澤 参事	<p>通常、これまでのプロジェクターと申しますと、可搬式と言いますか、持ち運び式で、黒板の前に机を置いてそこへ設置して、投影するという形のものでございましたが、今回導入させていただくのは、既に桜谷と中学校3年生についておりますように、黒板の上部に固定式でぶら下げて、それも黒板からそんなに長くない、だいたい50cm程度出た先にプロジェクターの機器を取り付けまして、それが黒板の前にマグネット式のスクリーンを降ろしまして、そこに投影するという形のものでございます。</p> <p>なお、今おっしゃっていただきましたように、電子黒板機能付きでございますので、投影した画面に書き込めるペンのようなものがございま</p>

<p>高橋 委員</p>	<p>すので、書き込んだりマーカーしたりということで、そこを児童生徒に注目させるような機能もついているというものでございます。</p> <p>ありがとうございます。ただ、これは私は個人的に、使ったこともありますけれども、なかなかいろいろな機能があります。けれども、十分使いこなせないとなると、やはり導入はされたが、現場は忙しくてなかなか結果的に高価なものを入れてもらったのに使わなかったというふうになっては困るので、やはり学校に任せるというのではなく、貴重な財源で手当てしていただいているので、研修もしていただいて、どの方も一定レベルまでは使いこなせるというように持って行ってほしいと思っています。</p> <p>私たちの初任の頃でしたら、黒板とチョークで来ましたが、こういったものを上手に使うと本当に教育的効果、あるいは意欲を高めることにもつながります。けれど、教えている者がこんな面倒なものはというふうになったら、宝の持ち腐れにもなりかねませんので、ぜひとも現場サイドで研修をして、卓越した方がおられますので、そういう人を中心にして教材など、研修会をしていただければありがたいなと思っております。</p>
<p>吉澤 参事</p>	<p>ありがとうございます。今おっしゃっていただきましたように、教員の皆さん方への普及と言いますか、活用という部分が大変大事かなと我々も考えております。私、昨日、学校の教職員の方がITの推進委員さんの研修会という形で、必佐小学校で今の可搬式のプロジェクターを使った授業の公開をされましたので、見せていただきました。小学校1年生また3年生の教室で見せていただきまして、1年生でどれだけできるのかなとも思っていたのですけれども、キーボードを使ったり、1年生の子どもさんでも使っていただいています。</p> <p>また3年生の授業の中では、これは各個人ではなくグループごとに使っていたのですけれども、グラフを視覚的に見せて、それで子どもたちに視覚のアピールをして有効に活用していくという授業もされていて、それを各班でしている操作が教師のところではすべて把握できると、班ごとの画像が把握できているというふうな授業もされていて、そこに各小中学校のITの推進員さんが見られて、そのあとまた話し合いもされていたと思いますので、そういう指導と言いますか、勉強もどんどんしていただいて、有効に活用していただけるのがいいのかなと考えております。</p>

高橋 委員	もう1つだけ関連しまして、それぞれの学校に入れていただいておりますけれども、特別支援学級、そこにも入れていただいておりますか。
今宿 教育長	<p>今、可搬式のプロジェクターは学校にも何台かありますが、その都度設置するのに手間がかかりますので、これらを常設できたらいいなと思っているのです。そんな中で支援学級も何クラスあるか数えて常設できるように計算しているところです。</p> <p>高橋委員さんがおっしゃっていただいたように、得意な教員もいれば、苦手な教員もいます。町の推進プロジェクトチームというのをつくって、授業をお互いに見合ったり、研究会をしたりしています。なかなか最初からうまく使えませんが、とにかくやってみるところから進めています。桜谷小学校と日野中の3年生は、突出して使用頻度が高いですので、やはりそういう条件・環境を整えることが必要と思っております。</p>
高橋 委員	どうぞよろしくお願いします。
西村 委員	こうした機器類につきましては、導入時いろいろと不慣れとかあるかもわかりませんが、結論的にはやはり有効・適切に使っていただいているということになると思います。既に使われている学校の実績もありますので、ぜひ適切に使っていただければありがたいと思います。
今宿 教育長	<p>ありがとうございます。そのほかご意見はございませんでしょうか。それでは、異議がないと認め、「議第1号 財産の取得について（日野町立小・中学校教育用プロジェクター機器）」を提案どおり承認することといたします。</p> <p>次に、「議第2号 平成30年度日野町一般会計補正予算（第3号）（教育費）について」を議題とします。事務局から提案説明を願います。</p>
望主 次長	(提案説明)
今宿 教育長	提案説明をいたしました。ご質問、ご意見はございませんか。
高橋 委員	歳出のところでございます。私はなかなか町のおつくりになっている予算書、9ページのところに事務局運営事業として数字があがっております。

<p>望主 次長</p>	<p>ますけれども、事業と書いてありますけれども、具体的にどれを指すのか、教えていただけませんか。</p> <p>事務局運営事業につきましては、細かな内容でございますが、旧鎌掛小学校のしゃくなげ學校で今利用していただいているのですが、そちらにつきましては現在は普通財産になっているのですが、今までの成り立ちから教育委員会が管理の費用を見ておりますので、そこが台風によりまして旧講堂部分の外の壁、モルタルがかなり剥落しましたので、その部分と瓦・ガラス・窓が傷みました。</p> <p>それと、鎌掛の方がご利用していただいている外トイレが運動場のところにあるのですが、そこも屋根がめくれ上がりましたので、今回維持修繕という形でさせていただきます。実情は旧鎌掛小学校の施設の修繕ということでございます。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>もう少し、しゃくなげ學校は、私は以前から知らない訳ではなくて、鎌掛の公民館、いろいろな活動でもお使いになっていたと思います。あるいは、もともとは、蒲生野考現倶楽部がしゃくなげ學校の立ち上げをされたのかなと思っていますけれども、鎌掛小学校の校舎・体育館・講堂、校舎そのものについてはこの先も教育委員会事務局が取り扱うという考え方でいかれるのですか、教えてください。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>今現在は、蒲生野考現倶楽部が日常の管理をしていただいている状況でございます。蒲生の考現倶楽部が事務局として使っているのと同時に、アニメの聖地ということで、「中2病でも恋がしたい！」というアニメのモデル校になっていまして、そこに訪問される方が土日を中心に結構おられまして、そのための施設を開放したりするのも、今は蒲生野考現倶楽部さんに面倒を見ていただいております。</p> <p>ただ、施設自体もかなり古くなっておりますので、鎌掛運営会もそうなんですけど、蒲生野考現倶楽部さんとも相談しながら、このままこの施設をずっと活かしていくのか、それともある一定の時にもう除却をするのか、その辺まだ結論が出ておりませんので、当然、今の状態で存続ということに。まだ具体的な計画もないので、31年・32年あたりの早い段階で、どうするかということを町としても決断しないとイケない時期に来ていると思っています。</p> <p>ただ、明確に利用目的が決まっておりませんので、現状の使い方、蒲生野考現倶楽部が事務所としてお使いになって、アニメの聖地として</p>

	<p>の部分を含めた中で管理していただいているという形です。</p>
高橋 委員	<p>アニメの何ですか？</p>
望主 次長	<p>「中2病でも恋がしたい！」という、それはアニメ映画のタイトルです。</p>
高橋 委員	<p>どこが企画されているのですか。</p>
望主 次長	<p>商業ベースになった、民間の会社がアニメーションをつくっている。その制作した作者が鎌掛小学校をモデルにされたのです。モデルになったところを「アニメの聖地」と言いまして、アニメの好きな方が巡礼のようにめぐって行かれるということです。近隣でいうと、豊郷町の旧豊郷小学校が「軽音」のアニメーションのモデル校で、そのファンの方が見に来られるのです。ドラマでもロケをしたところを聖地と言いまして、そこを見に行かれる慣行があるのです。</p>
高橋 委員	<p>わかりました。それは民の活動ですね。蒲生野考現倶楽部はNPO法人ですね。そこに町が関わるという、行政がお金を出すということは税金を投入するということで、鎌掛には協議会があって、長くいろいろやっておられますけれども、町の税金をどの辺まで投入するのかというあたりは、やはり慎重にお願いしたいと思います。税金ですので、透明性が必要になってきますし、また片方でNPO法人がどのようになっているのか、そのあたりも整理していただくうえで、税金投入をしていただくのが筋かなと思っています。よろしくお願いします。</p>
望主 次長	<p>今回の修理につきましても、施設の使い道が明確に町として決まっていますので、関係機関と相談しまして、完全な修理はできないという結論に達しました。外壁（モルタル）が剥落したのですが、結局はシートで覆うという、構造物事態を根本的に直さないという選択をさせていただきました。シートで雨が当たらないとか、応急的な措置をして、その間にこれからの使い方を、除却するのも含めた地元との協議をしようということで、大きなお金を使わず、本当に雨が入り込まない応急的な措置ということで今回はさせていただきました。</p> <p>今ご指摘いただきましたように、どれだけ税金を施設に投入するのかということも当然ございますので、その辺はしっかり見極めて、町との</p>

	<p>計画と整合性が取れるようなことを近々にまとめるということで、企画振興課、商工観光課と調整した中で、今回はこのようにさせていただきます。</p>
高橋 委員	<p>NPO法人、しゃくなげ学校さんにつきましては、以前から立ち上げられています、いろいろな財団がありますよね。そこから補助金をもらって運営されてきたと思っているのですが、この部分を生かせないのでしょうか。</p>
望主 次長	<p>蒲生野考現倶楽部の中の内容については、私ども詳しくは存じてないので、事務所として使われている分の賃貸料を払っていただいた中でしているだけですので、その辺は蒲生野考現倶楽部さんのお考えもあるのかなと思います。</p> <p>町は、財産を持っていますので、それをどう使う、こう使うを、地元である鎌掛とはしっかり話し合ってから進めたいと思います。</p>
谷 委員	<p>聖地に来られるファンの方々は、建物の中を見学されて、どうされるのですか。</p> <p>例えば小学校を訪ねられて、そのあとどこか日野町でお金を落としていってくださっているのか。そこだけを見に来て、サッと帰って行かれるのか。どういうことをされているのですか。</p>
望主 次長	<p>たぶん、来て、帰るという感じではないでしょうか。</p>
加納 参事	<p>鎌掛に西浦君という同級生がいるのですが、彼がアニメのオタクで、土日にそういう人たちに説明していたという実績は、今やっておられるかどうかわかりませんが、私が商工観光課のときにはそういうような対応をされていました。</p>
望主 次長	<p>それと、私も民泊を受けたときに、どこかに行きたいかと聞くと、「中2病でも恋がしたい！」と、中学生は言っていて、「これは冒頭のシーンで出てくる講堂のテラスや」とかいうふうに叫ぶ子もおりますので、そういう熱烈な子ども、大人の人も鎌掛、日野町にお金が落ちていくというのはわかりません。豊郷くらいですと規模が、だいぶん立派な施設ですよ。そこはちょっと違うかもわかりません。旧鎌掛小学校の2階に少しデコレーションされている部屋があって、そこを見</p>

	て、外観の雰囲気を見て帰られるという、マニアックな感じですよ。
谷 委員	何かできればいいですね。
望主 次長	なかなか難しいかも知れませんね。
今宿 教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ほかになければ異議がないと認め、「議第2号 平成30年度日野町一般会計補正予算（第3号）（教育費）について」を提案どおり承認することといたします。</p> <p>それでは、議事を終了し、日程7の今後の予定等について、学校教育課から順次説明をさせていただきます。</p>
各課長	(予定説明)
今宿 教育長	今後の予定についての説明が終わりましたが、ご質問等ございませんか。
西村 委員	<p>今後の予定とは関係ありませんが、一言補足させていただきます。文化財保護に関わる件について、先ほど私が発言しました中で、生涯学習課さんからお答えがあった部分ですけれども、町民の中で文化財への関心が高まり、そのパワーを活かして文化財行政の支援をとということを私が申し上げましたが、そのことについて関心を持っておられ、例えば「ある市で設けられている『市民学芸員』のような形で、行政でのお手伝いのできないものか」などと、役員さんレベルで話題にされている団体は「日野文化懇談会」でございます。加納参事さんよりお話がございました「日野町の文化財を守る会」さんにつきましては、私は外部のものとして、伝聞による情報以外は存じ上げておりませんので、念のため付け加えさせていただきます。</p>
高橋 委員	<p>各課からの今後の予定、毎回のように説明いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>まず1点目ですけれども、ここでお聞きすべきことではないのかなと思いつつ、11月17日に中学校の創立50周年記念式典がありますね。どこから数えて50周年かという話もあったように聞きますが、それはそれでいいのですけど、せつかく50周年記念式典をするのに、あ</p>

	<p>いさつは町長さんだけ、議長さんだけ、あとはなしと。教育長さんもないと。ちょっと、なんと言いましょか、さみしいですね。創立 50 周年記念式典。小学校もそれぞれ 100 年とかあったかと思いますが、そういう中でこの 50 周年記念式典をするにあたって、学校側と教育委員会事務局、教育委員は全然そういったことについて言及したことはないですが、こういう形になって、それであいさつは極力減らして、式典も極力時間を短くしようと。卒業生の方が来られて講演をされると。なんか、私個人的にいうと、非常に学校サイドだけに、あるいは学校の関係者、そもそも日野中には同窓会というのが、統合からそれが存続できなかったという経緯は私も十分知っているわけですけど、その辺、公表できる範囲でご説明いただければありがたいと思います。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>創立 50 周年につきましては、教育後援会会長と、PTA 会長と、学校において、日程も含めて昨年から計画されてきました。その内容については報告をいただいているのですけれども、ただ、あいさつは誰がとかいうところまでは聞かせてもらっていません。必佐幼稚園では記念誌を発刊されるというので原稿依頼がありました。それぞれ取り組みが違いますので、ただ、「仕方がないのでする」というような雰囲気を感じていただいたというのは非常に残念です。やはり熱意を持って、日野町の 1 つの中学校の 50 周年を祝う記念すべき年に居合わせた教職員や関係者であるという思いを第一に持ちたいなと思いますので、ぜひともそういう雰囲気がしっかり伝わるような式典にしてもらうようにしていかなければならないなと思います。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>私は学校現場を回ってきまして、ある時に創立何年かの記念式典の時に遭遇しました。前年から準備しまして、それがいいか悪いかは別にしまして、記念誌をつくったりしまして、私はやはり節目節目で形が大事だなと思っているのです。町長さん、教育長さんをはじめ後援会の会長さんや、できるだけ多くの人に来てもらい、そして当日は講演会もあったかなと思うのですけれども、今回は何となくその辺が中学校側のお話を聞いていると、ちょうど 50 周年目に当たるので、50 周年記念式典という考え方のように思いました。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>前はいつだったのですか。40 周年とかありましたか。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>ないです。教育後援会自体が平成 20 年の新しい学舎が建った時に、</p>

<p>高橋 委員</p>	<p>いろいろなことをされて、そのあと後援会という組織ができました。今回も教育後援会の方を中心にお話を進められ、中学校の実行委員会組織もされているので、教育委員会がああしろこうしろとかいうことはありませんでした。</p> <p>必佐幼稚園も実行委員会ですでにいただいていますので、同じようであります。内容が、講演会をメインにされているところもございまして、その時間の配分もあるかなど。それと前半は地域の触れ合いを重視したことをされて、午後から講演会ということになっていました。</p> <p>わかりました。もう1点。これまで私も教育委員会事務局に寄せてもらってから、現場にも出ましたけれども、教育委員会の中でこういう方針でいくとかいうお話をお聞きしております。以前にも話をしましたけれど、最後に校長が学校評価をしますよね。私、あれは非常に大事だと思っていますし、私の時にもありました。</p> <p>平成29年度の学校評価の中で、小中のそれぞれの学校で課題なり問題なり、解決していかないといけない中に出てくるのが、もう少し人権教育を深めていきたい。けれど、どういうふうにしていったらいいのかなか難しいという意味合いの文言が、どの学校にもありました。読んでいただけるとわかると思います。</p> <p>それで、この場は教育委員会と事務局の幹部の方々であるわけですが、毎月、校園長会をされているのですけれど、例えば教育委員会と学校長とは立場は違うわけですが、学校運営をしている責任者である校長が、責任感を持ってなかったらダメですよ。そういう意味でも、校長先生しっかりしなさいよ、という意味ではなくて、今こんなことを一生懸命取り組んでいるとか、こういうことを考えているとかいうような場、教育というところを舞台にして、その場に私たち教育委員が出るということは、いいことではないのかなど。私はこの役をもらってから、最近特に思っています。教育委員もそれぞれ立場・お考えがあろうかと思えますけれども、私はそういう場が年に1回くらい、校園長会とかに参画をしていくということが、日野町の教育向上に大なり小なりつながっていくといいなと思うわけですが、そのたずなを持っていただいているのが教育長さんですので、唐突に言ってびっくりされているかも知れませんが、私はそういうことを今までから思っていたのです。日野町の教育を高めていくということがこの教育委員会の大きな狙いの1つであると私は思っているのですが、どうでしょうか。結論を言うていただかなくてもいいですよ、思いを言っていたら結構です。</p>
--------------	--

<p>今宿 教育長</p>	<p>今お話を聞かせていただいて、どんなことができるかなということをお願いしながら聞かせていただいているわけですが、確かに私も現場にいました時、そしてまた安土町で教育委員会にいました時も、どちらもしていたなということを出していたのですが、1つは、今、日野町の教育委員会では、校長の面談を年に3回しております。</p> <p>学校経営方針を聞きまして、経営管理とか職員の資質向上などに沿って話をまずは聞くということをお願いしています。それを教育委員さんにも聞いていただいて、それぞれ校長の方針などを聞いていただいて意見を交わしたりというようなことも1つかと思います。</p> <p>また、毎月定例の校長会をしています。4月・9月・1月の年3回は拡大校園長会というのをやっています。そこには保育園から高校の先生まで、すべての教育の長が寄っていただいて、さらには子ども支援課も入っていただいています。教育委員さん方もその会に入っていて、それぞれ経営方針とか子どもたちの様子とか、それぞれテーマに沿って話をさせていただくのですが、そういう中に入っていくということもあるのかなと思っていたのですが、そういうことの方角性でというのはいかがでしょうか。</p>
<p>山田 委員</p>	<p>私たち教育委員は、学校経営など監督していく必要はあると思うのですが、レイマンコントロールという視点で言えば、そこまで踏み込んでいってもよいものかどうなのかと私は思います。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>特にご意見を出していただくというよりは、校長とか園長の顔を見ていただく、名前と一致していくということも大事なかなと思います。</p> <p>4月か5月に歓送迎会をさせていただいていますが、その時はまた違った会になりますし、公的な場というよりは親睦の場になります。改めて教育委員さんとしてどういう場がいいのかと思います。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>そのあり様がちょっと難しかったり、いろいろな問題があるのかなと私も思います。教育委員さんがおられて、教育長がおられて、学校関係の参事ということで、県の指導であったり町の指導は参事を通じて学校（校園長）に行くわけですので、その中で定例教育委員会の雰囲気であったり、教育長が参事に言って、参事が学校に伝えるというところも機能しています。ただ、教育委員さんが純粋にどんなことを思っておられるということを知りたい、興味についてはわかるので、それはそうい</p>

	<p>うところであるのがよいのかというのは、私も今、ふと言われると、それがそこでお話をするのが、教育委員さんと学校長なりがトップトップでいろいろな意見を交わすのがいいのかというのは、少し何か、すぐに判断できないなというか、難しいという表現がいいのかわかりませんが、違和感ではないですけど、ちょっと感じることは、私の思いとしてはあります。</p> <p>教育委員さんが各学校に訪問されたり、運動会を見ていただいたり、その中で感じられたことは教育長さんから参事へ、参事から校園長へと伝える。直接指導と言うか、その辺のところはどうなんかなというふうには思うところもあります。それは私の私見です。いろいろなことで議論を高めた中でしていくのも1つの方法かなと思ったりします。</p>
今宿 教育長	<p>学校経営について、どういう立場でどういうご意見をいただけるかということですね。</p>
	<p>どういうスタンス、立ち位置で、どのような関係で参加するかという立場をはっきりと持ってないと、校長も混乱するかなと思いますので、ご意見をいただいたことについては今後考えていきたいと思います。</p>
高橋 委員	<p>私は学校現場あがり教育委員をさせてもらっているわけですし、前の職場では横浜市教委出身の方と話をしたりしてしまして、毎週教育委員会があるわけですよ、横浜市あたりは。膨大な業務があって、体制が全然違うわけですけど、今の時代というのはやはり、教育委員の立場というのはもちろん踏まえながらも、やはり教育長さんがまとめて、県からの主事さんが話をするというのももちろん大事ですけど、年に1回くらい、そういうような意見交流とはいかなくても、顔を見てしゃべるというのか、そういう機会は効果的に、いいのではないかなと思ったので、時期的に言わせてもらいました。</p>
西村 委員	<p>ただいまの高橋委員さんのご意見はよくわかりました。先ほど山田委員さんがおっしゃったように、レイマンコントロールとしての教育委員の役割というのは、基本的にはあると思いますし、その中で関わり方、各学校を預かっておられる校長先生などにダイレクトに影響を与えるような形での関わり方というのは、基本的には私は適切ではないという意見なんです。</p> <p>だから、ここのこの場、教育委員会の定例会、ここで論議していく、それぞれ委員の思っていることは出して、それをよくかみ砕いていただ</p>

	<p>いて、また教育長の方で判断いただいて、事務局からそれぞれの、例えば伝達すべきことがあれば校長に言っていただくという、それを押さえたうえで、個々に、たまたま訪問して発言されるとかいうことはいいとしても、機関としての教育委員会としては、その辺はよく考えるべきかなという意見でございます。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>また課内でも検討していきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p>
<p>山田 委員</p>	<p>「親子読書の日」が始まりだいたい半年くらい経ったのですけれども、図書館の貸出冊数は伸びてますか。館長さんのご意見でいいので教えてください。</p>
<p>高浪 館長</p>	<p>貸出冊数については、先日の決算特別委員会でも昨年度の結果を見て、議員さんから伸びてないではないか、何をやっているのかとお尋ねがありました。子どもさんたちの貸出については活発だと思っていますし、小学校の方から学校司書を通じてその結果を毎月もらっていますが、とても活発に読書をしてきています。色々な小学校が色んな取り組みをしてもらっている中で、図書館も少しはお手伝いできているのかなと思います。図書館全体としては伸び悩みということはあるのですが、幼稚園も保育所も小学校も中学校も、熱心に読書に取り組んでおられるなというのは、喜びとしております。</p>
<p>山田 委員</p>	<p>子どもたちの読書が活発だというお答えを聞いて安心しました。先日、10月26日（月）に日野中学校で講演会があって、その時の講師の先生が、N I T情報技術推進ネットワーク株式会社の篠原嘉一先生でした。その先生はスマホの危険性とかをお話をいただいて、具体的な例を出しながら、中学生や保護者にお話をさせていただきました。この篠原先生、本とは正反対のところにいるような方ですけれども、この方も本の重要性を言われたのです。</p> <p>子どもの頃に親から絵本を読み聞かせてもらおう。ページをめくる間とか、めくってもらえる間が辛抱できるかどうか、そういうことも大切だとおっしゃっていたので、読書の大切さをさらに感じた日でした。これからどうぞ、親子読書の取り組みを広めていってほしいなと思いました。</p>

今宿 教育長

図書館の来館を増やすために開館日を増やしたりとか、時間を長くしたりとか、幼稚園や保育園に出前に行ったりとか、いろいろ取り組んでいただいています。行政の職員も図書館を利用していかないといけないなとも思います。

まず20代から60代が少ないのですね。20代までは結構貸出が増えていて、60代以降も増えているのですね。ちょうど読まない世代があるようです。親子読書などその世代の人たちをどういうふうに図書館にいざなうといいのか、まだまだ工夫していく余地はあるかなと思っています。図書館でやっていること、また学校でいろいろやっていることがあるので、両方まみえながら広がっていくといいなと思っています。

なかなか読まない人たちに読ませるとするのは難しいけれど、子どものうちに楽しさを覚えた子たちは、大人になっても本を放さない、本がない方が落ち着かないというふうになりますよね。その勝負は子どもたちだと思うので、幼小期を意識して取り組んでいきたいと思っています。

ありがとうございます。ほかございませんでしょうか。

それでは、以上をもちまして、定例会を終了します。